

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

ニコニコ箱

今回秋の叙勲に浴しましたので!!ありがとうございました。(高橋 薫)  
 高橋様受賞おめでとうございます。(小藤幸男)  
 高橋さん受賞おめでとうございます。(荒本秀一)  
 高橋様の御功勞に心より敬服の念をこめて。(伊井彌州雄)  
 宮崎バスターガバナー卓話 大変勉強になりました。(尾崎隆伸)  
 福井ロータリーの創立 61 周年を記念して。宮崎バスターガバナーの卓話  
 ありがとうございます。(品谷義雄)  
 宮崎バスターガバナーの卓話ありがとうございました。(宮嶋良夫)  
 祝 61 周年、宮崎バスターガバナーの卓話に感謝して。(北島 恬)  
 宮崎P.G. 卓話ありがとうございます。職場訪問の写真ありがとうございました。  
 (木村憲一)  
 高橋さん。叙勲おめでとうございます。酒井さん。写真までどうもありが  
 とうございました。これほど立派なものは生まれて初めてです。(水田 基)  
 酒井さん、写真ありがとうございます。(宇野良二)  
 サカセ化学酒井さんより写真をいただきました。(竹内由男)  
 酒井さん先週はお世話になりました。(小谷靖夫)  
 酒井さん、職場例会ではお世話になりました。また、大変立派な写真  
 を頂き、ありがとうございました。(鎌田浩二)  
 酒井さん写真ありがとうございました。パファローズ4位が確定しまし  
 した。ご声援?ありがとうございました。(栗本充由)  
 久し振りの例会です。(山本一雄)  
 各 君

米山奨学特別寄付金

創立 61 周年をお祝いして。(荒本秀一)  
 創立 61 周年記念例会に参加できて。(加藤幹夫)  
 高橋さん叙勲おめでとうございます。(清水則明)  
 高橋会員の受章をお祝いします。(宮嶋良夫)  
 高橋さんの叙勲御祝いをいたします。酒井哲夫会員、職場訪問例会に感  
 謝して。(北島 恬)  
 宮崎為夫、小谷靖夫、小藤幸男、高橋薫  
 各 君

ロータリー財団増進特別寄付金

記念ある卓話をさせていただいて。(宮崎茂和)  
 宮崎バスターガバナー ロータリー財団の根幹にかかわる卓話ありがと  
 うございました。大変勉強になりました。(岩下春幸)  
 宮崎先生、卓話ありがとうございました。(石丸敦士)  
 10 月 28 日からネパールに行って、人道的教育支援事業の調査をして  
 来ます。(清水嗣能)  
 高橋薫、坂本篤、久住竜夫、宮崎為夫  
 各 君

ポリオ「2億ドルチャレンジ」

3回目です。(宮崎茂和)  
 宮崎バスターガバナーに、深く敬意を表して。(江守康昌)  
 清水嗣能、渡邊義信、伊藤仁一郎、鍋屋昌明、竹中章浩、大森正男、  
 藤本潤一、木村憲一、野村直之、宮嶋良夫、平野洋一  
 各 君

寄付金の状況

	10月20日分	累計
ニコニコ箱	70,000円	1,148,000円
米山奨学金	17,000円	189,000円
ロータリー財団	4,000円	151,000円

ありがとうございました。

ビジター受付

■ 10月28日(金) 福井あじさい	■ 11月14日(月) 敦賀西
■ 10月31日(月) 敦賀西	■ 11月15日(火) 福井南
■ 11月 1日(火) 若狭	■ 11月22日(火) 武生
■ 11月 3日(木) 福井水仙 ビジター受付なし	■ 11月23日(水) 丸岡
■ 11月 3日(木) 武生府中 ビジター受付なし	■ 11月29日(火) 若狭
■ 11月 8日(火) 武生	■ 11月29日(火) 福井南

次回の例会

2011年 11月10日(木)

- 会場:ユアーズホテルフクイ
- 例会/栄誉行事
- 開会点鐘:12時30分~
- 閉会点鐘:13時30分~

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央 1 丁目 3 番 1 号 加藤ビル 5 階 TEL: 0776-25-0633 FAX: 0776-24-8622  
 例会場 ユアーズホテルフクイ 4F TEL: 0776-25-3200  
 クラブ会報委員会 委員長: 宮嶋良夫 副委員長: 坂本篤 委員: 奥村隆司・中広久・後藤太郎  
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com  
 創立 昭和25年11月1日(1950年) 承認 昭和25年12月4日(承認No.7647) 例会 毎週木曜日12:30~13:30

現在会員数  
112名

# 福井ロータリークラブ会報

R.I. DISTRICT 2650  
 ROTARY CLUB of FUKUI  
 2011-2012  
 WEEKLY BULLETIN

2011年10月27日  
 第2063号(2219)

2011-2012 RI テーマ:「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

R.I 会長  
 カルヤン・バネルジー



R.I 第2650地区ガバナー

今西 信裕



理事・役員

会長(理事)	北島 恬	副会計	市橋加奈子	(理事)クラブ奉仕担当	加藤 幹夫
副会長(理事)	野村 直之	S.A.A	山本 啓史	(理事)職業奉仕担当	酒井 哲夫
直前会長(理事)	藤井 健夫	副S.A.A	市橋 信孝	(理事)社会奉仕担当	橋本 泰久
幹事	木村 憲一	副S.A.A	橋脇 典子	(理事)国際奉仕担当	石橋 正人
副幹事	渡邊 義信	(監事)	吉田 清二	(理事)新世代奉仕担当	須賀原和広
会計	大森 正男	(監事)	野尻 章博		

## 本日の例会

2011年10月27日  
 第3014回

12時30分 開会点鐘  
 例会  
 坂本ガバナーノミニー卓話  
 13時30分 閉会点鐘

## 今後の予定

- 11月 3日(木) 休会
- 11月10日(木)  
 例会/栄誉行事  
 会員卓話(坂本篤会員)
- 11月17日(木)  
 例会/委員会卓話
- 11月24日(木)  
 理事会/例会/会員卓話

## 福井ロータリークラブ 60年の歴史

### 歴代会長

会報等に記された歴代会長の  
 活動方針などを掲載しています



市橋 保

第34代 (1983~84 昭58)



加藤 初蔵

第35代 (1984~85 昭59)

### 市橋 保

会長としての基本となる抱負は

1. 伝統を尊重して新しい時代の要素を適切に加味
2. 率直に本音を披瀝する
3. 真のロータリーの姿を勇気を持って積極的にPR 宣伝
4. ロータリー精神を通じて相互理解の完成に力を

### 加藤 初蔵

他のクラブに比べて必ずしも良い成績をおさめているとはいえないこともある。このため、多くの先輩、新しく入会した方に物心両面の御負担をあえてお願いしたい。RI会長の「みつけよう奉仕の新生面」に私は「職業」という字をそう入して努力したい。

例会報告

2011年10月20日 第3013回 例会

- 現在会員 112名
- 出席者 53名
- 今回例会出席率 48.6%
- 届出欠席者 58名
- 無届欠席者 1名

- メークアップ 玉木洋 (10/30福井水山)、清水則明 (10/13福井水山)、岩下春幸 (10/15地区、10/16地区、10/18勝山)、清水慶造 (10/16地区)、吉田清二 (10/17福井東、10/20福井水山)

会長挨拶



本日は61年目の年ということで、特に宮崎パストガバナーに卓話をお願いしております。宮崎パストガバナー、よろしくお願いたします。61年目といいますが、私が5歳の時にこのクラブが発ち上がったわけでありまして。歳を重ねることが、いかに大変かということがよく

に生きていこうということは、若い頃から思っておられたことでしょうか。そして、歳を重ねるごとに段々と丸くなっていくのが理想的だと思っております。

今日は嬉しいご報告を一ついたします。嬉しいと言いますか、おめでたいご報告をいたします。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、会員の高橋薫さん、秋の叙勲で瑞宝双光章をお受けになります。高橋さん、おめでとうございます。高橋さんは、ご存知のとおり警察の方で大変ご苦労されまして、その功績に対して叙勲の運びとなったと聞きしております。11月9日に拝謁のため上京されます。この後、宮崎パストガバナーの61年目を迎えるの卓話をいただきますので、私の挨拶はこの程度にいたします。

わかる、クラブの歴史だけを見てもわかるだろうと思います。ましてや私たち人間は歳を重ねるごとに、段々とどうなっていくのか。それぞれにその人の歩みがあると思っておりますけれども、少なくとも人として立派

荣誉行事



小谷米山奨学副委員長

当クラブは、米山功労クラブ第42回目表彰を受けました。

幹事報告

- ① 27日は坂本ガバナーノミニの卓話です。
- ② 11月3日は休会です。
- ③ メークアップの情報。

委員会報告



高橋環境保全副委員長

10月2日に開催されたNPO法人ドラゴンリバー交流会の活動に参加し、奉仕活動を行ってきたこと等について報告がありました。

ロータリー豆知識

第16回 米山奨学会「表彰制度」 Recognition system of Rotary yoneyama Memorial I Foundation Inc.

個人、法人またはクラブの特別寄付に対して、次のような表彰制度がある。

個人寄付への表彰	
準米山功労者	3万円
米山功労者	10万円
米山功労者マルチプル	20万円～90万円
米山功労者メジャードナー	100万円以上
法人寄付への表彰	
準米山功労法人	5万円
米山功労法人	50万円
米山特別功労法人	100万円以上
クラブの表彰	
米山功労クラブ	100万円毎
達成クラブ	1000万円毎
クラブ創立記念特別寄付	10万円以上

福井RC創立61周年記念卓話

ロータリーのポリオ撲滅 ～その活動と現状～ (抄録) 宮崎茂和パストガバナー



クラブ創立61周年記念例会ということで、標記の主題で卓話を命じられました。この記念例会で、先輩を偲びながら皆さんと一緒に例会を楽しめる、ロータリーとしては至福の夕べであります。

ポール・ハリスは、1905年に親友3人とロータリークラブの原型を作りました。親睦と商売上で助け合える互惠関係を目的に、自分達だけが満足で、友情溢れるRCでした。しかし、自己満足型の特異な団体として地域社会から見放され、将来性は望めないという危機感が生じ、1911年ミネアポリス大会ではフランク・コリンズの「Service above Self」、アーサー・フレデリック・シェルドンの「He profits most who serves best」の奉仕という概念が導入され、以後106年の歴史を刻み、現在の「Doing good in the world(世界で良いことをしよう)」というキャッチフレーズに連なってきました。これらの概念をもとに、1981年からポリオ撲滅が始まりました。2007年の規定審議会で決議されたのはポリオ撲滅の目標です。私も2004年に次ぎ2007年に2650地区の代表議員に選ばれ、このCOLで、賛成演説を行ないました。財団のプログラムは2つ(①教育的プログラム②人道的プログラム)あります。3Hプログラム(Hunger, Health, Humanism)が1977～78年に設立、このプログラムからポリオ・プラスとしてRIがポリオと関係を持つようになりました。人道的プログラムを行なうことで国際理解、親善、平和の実現をハッキリした形で示しました。RIや財団は23年間、ポリオ撲滅に立ち向かい、野生株からの発症数は減り(インドは今年3月以来7ヶ月間、発症無し)、パキスタンとアフガニスタンが問題になっています。発症が極端に減少している国では、政府の関与と宗教上の問題での合意、世界各国の援助が原動力になっています。

日本は、ワクチンの調達・投与のための一斉キャンペーン費用の援助は世界第3位で、今年8月15日にはパキスタンへ49億9,300万円の円借款を行ないました。ナイジェリアやアフガニスタンでは、紛争や戦闘を一時中止して行なう状態になって、撲滅はファイナル・インチ(最終段階)にきています。ロータリー全体では、WHO、ユニセフ、CDC(米国疾病対策センター)と協力し世界の主導パートナーになっています。グローバル認定委員会が「世界中でポリオはフリーになった」と認定するまでプロジェクトは続けられます。RIが財団を経由して行なった寄付額は12億米ドルを超えています。2010年末には世界のポリオ撲滅推進計画の中で14%を占めています。民間団体の寄付額ではその66%を占め、群を抜いて第1位です。財団寄付の分野でポリオ・プラスへの指定寄付があり、他にポリオ・プラスパートナーというプログラムを認定し、現地でのワクチン補給・人的費用に、クーラーボックス、冷蔵庫、移動に必要な車両等の補充などを行なっています。全世界の地区、クラブ、個人でのプロジェクトへの参加は今までに約100万人以上のロータリアンが汗を流しています。目下、2億米ドルチャレンジ寄付の真最中で、現在1億9,000万ドルを超えています。

RIは1985年フィリピンで、5歳以下の子ども達に経口ワクチンを投与したところ、劇的な効果があり1988年から財団のプログラムに移行して取り組むようになりました。

RIのポリオ・プラス委員会の委員だった東京麹町RCの山田さんが、1981年に峯さんと協力しRIに先駆けてクラブでポリオ・プラスの活動を開始され、現地に出かけてワクチン投与に活動されたので、2人のロータリアンと麹町RCが世界的なパイオニアです。撲滅運動は日本から始まったこととなります。人が動き、金や物が後からついていく形で活躍されたわけですが、ご両人はその後風土病で亡くなったと聞いています。ロータリアンの真髓・概念を貫いた先輩として世界に誇れる方々だと思います。今日まで日本の地区、クラブがこの活動を受け継いだこととなります。日本では、1960年に北海道中心に

約5,000名の患者が発生、大流行となりました。1980年(昭55)以降は流行はありません。日本のワクチン接種はこの年から始まっており、いかにワクチンが有効か分ります。日本のポリオフリーの宣言は2000年の3月であり非常に長期を要しました。

2650地区はRIや財団でもポリオ撲滅については有名で、国内のRCでは追従を許さないものです。福井RCではこのプロジェクトの参加者は4名います。宮本元会長と高浜さん、現会員では増田元会長と私です。地区ではポリオの流行している地域で各年度ガバナーを中心にWCS委員会では、WHOの西太平洋地域事務所(WPRO)との協力関係が強く、効率的、効果的に奉仕活動を山崎ガバナー年度まで押し進めてきました。この業績が高く評価され、普通なら東京で開催されるべき撲滅宣言を2000年10月に京都で、各国の首脳を交え、秋篠宮様をお迎えし、日本政府と2650地区の共同開催が出来ました。2650地区がクローズアップされ、全世界に燦然と輝く日になりました。山崎年度後も地区のポリシーとして栗田年度まで続けられています。撲滅宣言したのになぜ?と考えられるでしょうが、一昨年はフリーになったヨーロッパのタジキスタンで大流行があり、今年もWPRO管内の中国で大流行がありました。野生株からの発症ではなく、輸入株によるもので、国内のワクチン投与での免疫活動が低い地域が問題になるので、2650地区ではフリーになったWPRO管内でも接種率が極端に低い地域を選んで毎年ワクチン投与を行なっています。

私は、17年間に8回参加という実績と全国のガバナーノミニー以上の研究会でモデレーターやパネリストを5～6年連続し、ポリオ撲滅の重要性を強調して来ましたので、財団から1年に世界で10名しかいたらない表彰を、また認定委員会から感謝状を受けることができました。私が福井RCで育てていただいたお蔭であり、福井RCの大きな荣誉でもあります。HGPI(Health and Global Policy Institute)、日本医療政策機構では、9月21日、台風15号の真只中、東京のポリオ撲滅に対する会議で、ジュネーブや日本のWHO、ユニセフ、ジャイカなどに加えて、日本政府(厚労省、外務省、財務省、総務省など)、NHKなどが集って、ポリオの現状と将来に対するミーティングを行ないました(ロータリー代表で私が出席)。10月24日の世界ポリオデーでの公開イベントにロータリーを代表し、私達の貢献や活動を紹介するパネリストとして出席します(10月24日はワクチンを発明したソークさんの誕生日)。今年から来年にかけて行なう国際奉仕はネパールのミラ小学校を中心にしたものになりますが、参加してこそ分るロータリーです。勿論80歳の私も参加します。当クラブはマスコミを代表する会員に恵まれています。記者の参加をお願いし、楽しい奉仕で、ロータリーライフをエンジョイ出来るよう会長さんやロータリー財団委員長さんに代わり、私からもお願いしたいと思います。

最後に2つのお願いがあります。米山への寄付は目に見えるもので、頑張っています。財団への寄付目に見えにくい所もありますが頑張るといこと、例会でロータリーを学び、自分達を超えるアクティビティを発揮して、さすがは福井RCと言われるようにして頂きたいと思っております。11月は財団月間です。ロータリー財団へのご寄付を特に重ねてお願いします。(詳細版は別紙とさせていただきますので、ご参照ください。)

同好会(ワイン会)



今回はホテルフジタ福井チャイナテーブル様に伺い、中華料理とワインのマリアージュを楽しみました。あまりワインと楽しむ印象のない中華ですが、ほんのり甘めの白ワインや果実味豊かな赤ワインとの印象はなかなか面白いものでした。次回は10回目ということで一区切りの会となります。年末と言うこともありますし、さらに面白いワインを揃えた会にしたいと考えております。

食卓会



片岡パスト会長から乾杯のご挨拶をいただきました

